



「こりゃ、ひどい」... 16日に発生した中越沖地震の市内の被災現場を見た時、必ず出る声です。日本共産党議員団は16日から被災現場を訪れ、被災者を見舞うとともに、要望を聞いています。17日には議員団全員がそろって柿崎区、吉川区、大潟区、頸城区、三和区などを調査しました。

家屋の土台がずれている家、玄関の中から灯油の臭いが漂っている家、家具類が散乱し、柱が傾いているところもありました。被災者からは、「このままでは住めない。再建に向けて支援をしてほしい」などの要望や不安の声が次々と寄せられました。

日本共産党上越地区中越沖地震対策本部（阿部正義本部長）は党議員団の調査に基づいて17日の夕方、木浦市長に対して緊急要請（下段に要旨）を行いました。本部は、引きつづき、対策を強化していきます。



# 被災者を見舞い、現地へ。そして市長への申入れ

## 日本共産党上越市議員団、党上越地区対策本部

### 【緊急要望の主な内容】

1. 応急危険度判定において「危険」「要注意」と判定された家屋とその居住者に対して  
判定の結果、何ができて何をしなければならないかなど具体的な説明を、該当者に対しただちに、かつ丁寧に行うこと。  
希望者には、必要な住居を確保すること。  
判定をためらっている市民に対し、適切な対応をすること。  
家屋の撤去費用・再建費用等に対する市の補助制度などを確立し周知すること。
2. 要介護者に対する対応について  
散乱した家財等の後かたづけの支援をもとめている人を把握し、行政として必要な支援を行うこと。  
危険家屋居住者のみならず、家財の散乱などにより居住に困難をかかえている人たちへの対策を講じること。

3. 道路等の被害に対して  
幹線道路の修復はすすんでいるようだが、枝線等には危険箇所が残されている。安全対策を講じるとともに、至急、修復作業にとりかかること。  
ライフラインの確保に全力をあげること。

【写真説明】左上、村山副市長に要請書を渡す党対策本部。右上、吉川区の避難所で被災者を見舞う議員団。右中、吉川区内で家屋被害を調査する議員団。右下、柿崎区での家屋調査。いずれも17日。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

100 2007年7月22日

連絡先	杉本敏宏	524-3787	(東本町5)
	樋口良子	544-6802	(中門前3)
	橋爪法一	548-3628	(吉川区代石)
事務局長	上野公悦	530-2203	(頸城区中柳町)

